魚津市中期財政計画(概要版) 【令和7年10月策定】

1 計画策定の目的

- ■少子高齢化の進行による社会保障関係費の増加や物価高騰による財政負担の 増加が見込まれる。
- ■本庁舎をはじめとする公共施設の老朽化が進んでいることから、今後、 その建替えなどに多額の費用が必要。



計画的な行財政運営に向けて「魚津市中期財政計画」を策定

2 基本的な考え方

- ①計画期間
 - 令和8年度~令和12年度(5年間)
- ②計画の見直し
 - 今後の財政状況や新たな行政需要などを考慮し、毎年度見直し
- ③会計の単位 財政見通しの会計単位は「一般会計」

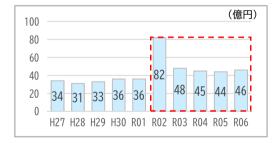
3 魚津市の財政状況

①市税の推移 66億円前後で推移。R6は定額減税



②国・県支出金の推移

コロナ・物価高騰対策のためR2~増加



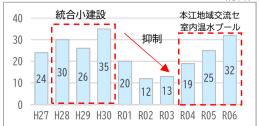
③義務的経費の推移

コロナ・物価高騰対策のため扶助費増加



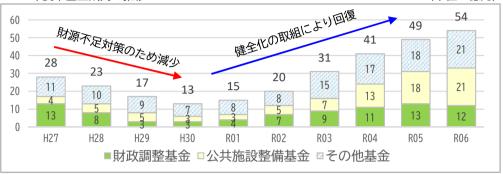
④投資的経費の推移

室内温水プール整備等で増加 (億円)



4 基金の状況 (H27~R6)

- ■平成28年度以降、財源不足を補填するため基金残高は急速に減少
- ■令和2年度以降、行財政改革に取り組んだ結果、基金残高は回復 <年度末基金残高の推移> (単位:億円)



5 財政収支見通し (R8~R12)

- ■義務的経費は、公債費が一時的に減少していくものの、扶助費が社会保 障関係費の伸びにより増加傾向であるため、全体的に高い水準で推移
- ■コミュニティセンターや新庁舎の整備などにより、中期的に投資的経費 とその財源である市債等(その他収入)の増加が見込まれる。

<一般会計 歳入・歳出の財政見通し>

(単位:百万円)

<一般会計 歳人・歳出の財政兄迪し>				(単位・日万円)	
R7当初	R8見込	R9見込	R10見込	R11見込	R12見込
6, 445	6,633	6, 578	6,658	6, 740	6,689
3,720	3, 710	3, 798	3, 851	3, 826	3, 835
11, 423	9,975	11,822	11,682	10, 026	10, 234
21,588	20, 318	22, 197	22, 191	20, 592	20, 758
R7当初	R8見込	R9見込	R10見込	R11見込	R12見込
8,548	8, 394	8, 391	8, 532	8, 603	8,661
3,083	2, 317	4, 567	4, 367	2, 695	2, 525
9, 957	9,877	9, 590	9, 592	9, 556	9, 968
21,588	20,588	22, 548	22, 491	20, 854	21, 154
0	△ 271	△ 351	△ 300	△ 262	△ 396
	R7当初 6,445 3,720 11,423 21,588 R7当初 8,548 3,083 9,957 21,588	R7当初 R8見込 6,445 6,633 3,720 3,710 11,423 9,975 21,588 20,318 R7当初 R8見込 8,548 8,394 3,083 2,317 9,957 9,877 21,588 20,588	R7当初 R8見込 R9見込 6,445 6,633 6,578 3,720 3,710 3,798 11,423 9,975 11,822 21,588 20,318 22,197 R7当初 R8見込 R9見込 8,548 8,394 8,391 3,083 2,317 4,567 9,957 9,877 9,590 21,588 20,588 22,548	R7当初 R8見込 R9見込 R10見込 6,445 6,633 6,578 6,658 3,720 3,710 3,798 3,851 11,423 9,975 11,822 11,682 21,588 20,318 22,197 22,191 R7当初 R8見込 R9見込 R10見込 8,548 8,394 8,391 8,532 3,083 2,317 4,567 4,367 9,957 9,877 9,590 9,592 21,588 20,588 22,548 22,491	R7当初 R8見込 R9見込 R10見込 R11見込 6,445 6,633 6,578 6,658 6,740 3,720 3,710 3,798 3,851 3,826 11,423 9,975 11,822 11,682 10,026 21,588 20,318 22,197 22,191 20,592 R7当初 R8見込 R9見込 R10見込 R11見込 8,548 8,394 8,391 8,532 8,603 3,083 2,317 4,567 4,367 2,695 9,957 9,877 9,590 9,592 9,556 21,588 20,588 22,548 22,491 20,854

6 計画的な行財政運営に向けて(今後の取組)

- ■毎年の財源不足は、事務事業の見直しなど継続的な行財政改革の取組や 国・県の補助金、企業版ふるさと納税などの財源確保により解消
- ■財政調整基金は、安定的な行財政運営に向けて適正な残高を確保
- ■公共施設整備基金は、<u>毎年3億円以上を積み立て</u>、新庁舎整備に備え 令和8年度末までに残高20億円以上確保
- ■減債基金は、令和9年度以降、剰余金を活用しながら積立